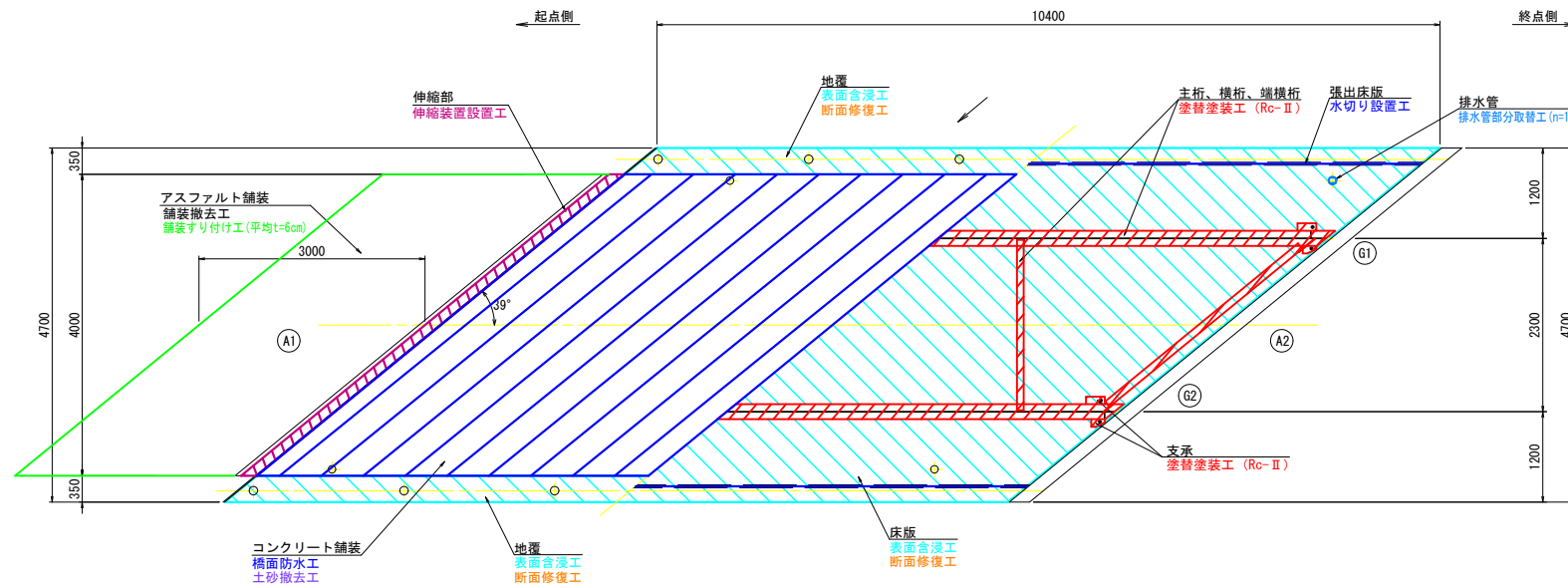
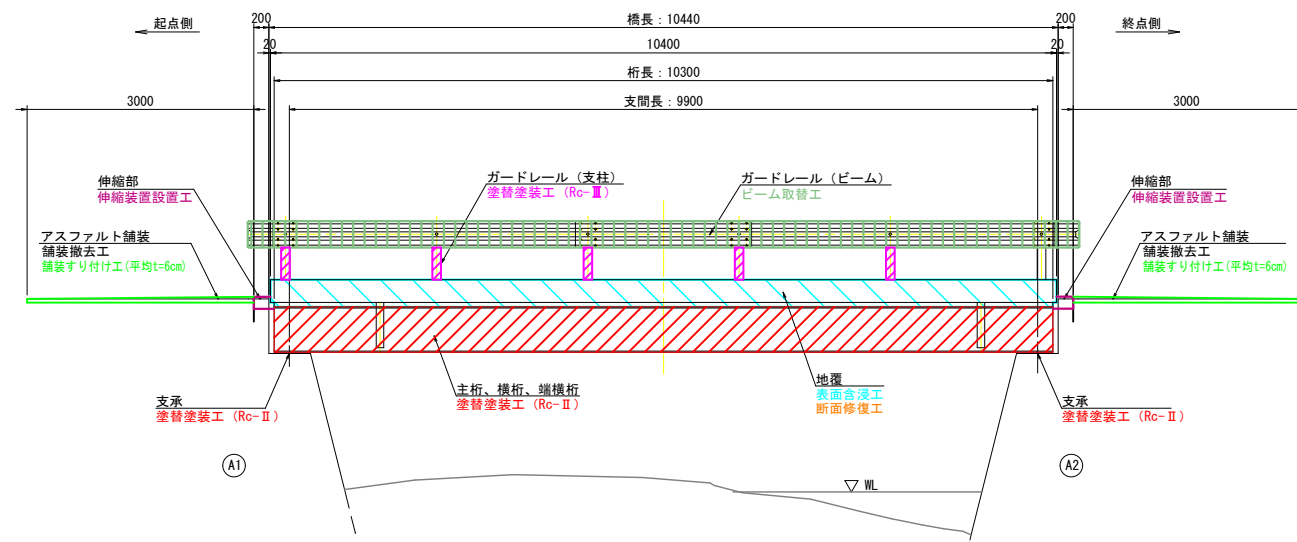


勢伊後橋 補修一般図 S=1:50

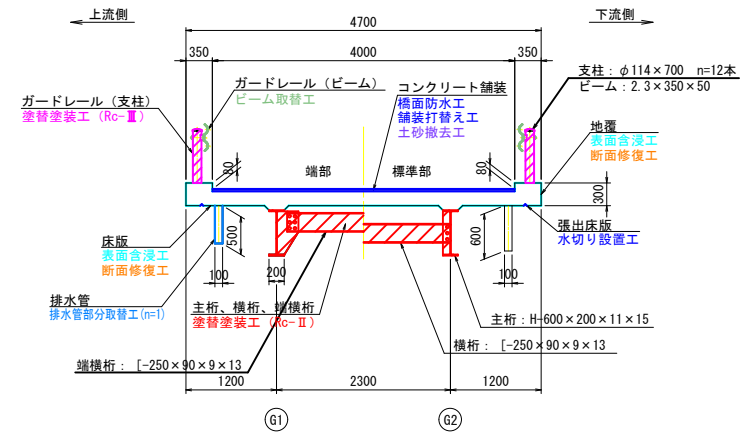
平面图



側 面 図



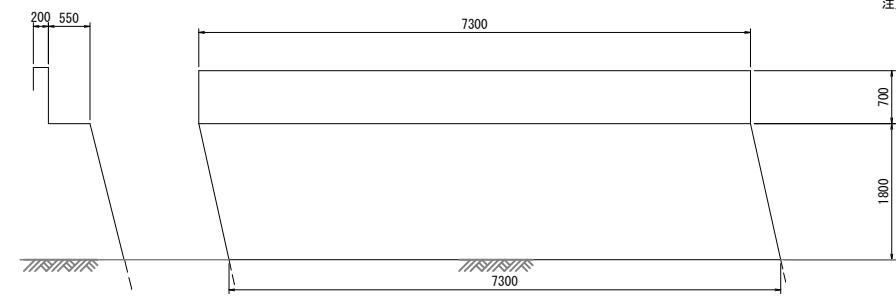
断面図



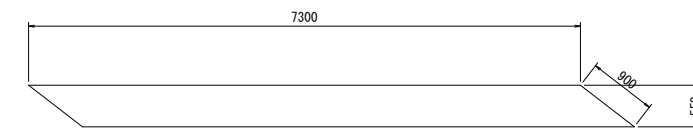
A1橋台

正面図

側 面 図



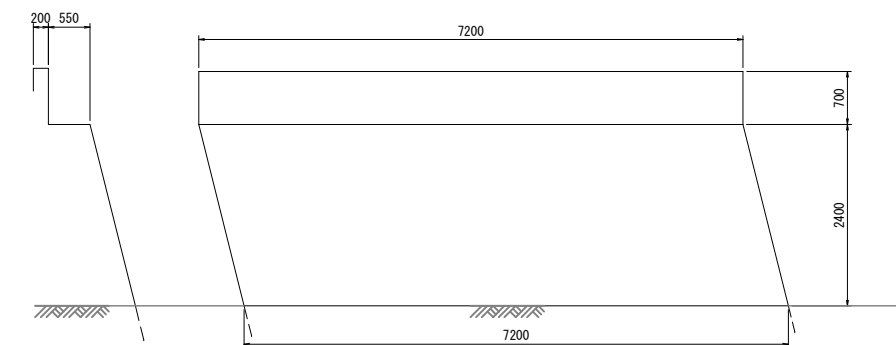
橋 座 面



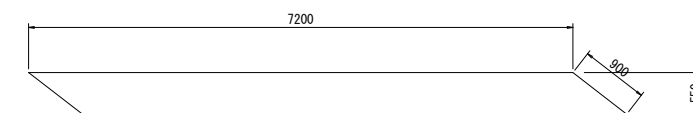
A2橋台

正面図

側 面 図



橋 座 面



補修対策工

位 置			工 種
上 部 工	コンクリート床版		断面修復工（左官工法）
			表面含浸工（中性化対策）
		主桁・端横桁・横桁	水切り設置工
支 承			塗替塗装工（Ro-Ⅱ 塗装系）
橋 面	コンクリート舗装		橋面防水工
			舗装打替え工（オｰﾊﾞｰﾚｲ舗装）
			土砂撤去工
	アスファルト舗装		舗装撤去工
			舗装すり付け工（平均t=6cm）
	伸縮部		伸縮装置設置工
	ガードレール	支柱	塗替塗装工（Ro-Ⅲ 塗装系）
		ビーム	ビーム取替工
地 覆		断面修復工（左官工法）	
		表面含浸工（中性化対策）	
排水管			排水管部分取替工（n=1）

注) 1. 本図は、橋梁定期点検調査及び簡易な現地計測により作成している。
2. 実施施工においては、再調査の上、図面整合等確認ののち材料制作・施工を行うこと。
3. 橋面舗装は、現在のO舗装に橋面防水工を行ったのちオーバーレイ舗装(t=3cm)をする。

工事名	市道津々羅・佛原線（勢伊後橋）補修工事		
図面名	勢伊後橋 補修一般図		
作成年月日	令和 5 年 1 月		
縮尺	1:50	図面番号	1 / 5
事業者名	安芸高田市 建設部 建設課		

(注) 1. 本図は、橋梁定期点検調査及び簡易な現地計測により作成している。
2. 実施施工においては、再調査の上、面ど合等確認後のうち材料制作・施工を行うこと。
3. ひびわれの断面修復方法は、補修詳細図を参考とすること。
4. AI橋台バラベタ部のひびわれ、欠損については、伸縮装置設置の際に取り壊すためコンクリートは、現況の ϕ を維持すること。
5. 橋台舗装は、修築の ϕ に準じて橋面防水工を行った後、オーバーレイ舗装($t=3\text{cm}$)をする。

上部工（橋面）

上流側側面図

地覆
表面含浸工
断面修復工

K0.10 × 0.10

500

5x2000=10000

500

ガードレール (支柱)
梁替装工 (Rc=■)

ガードレール (ビーム)
ビーム取替工

J0.11 × 0.57

K0.11 × 0.35

K0.11 × 0.30

K0.11 × 0.30

K0.11 × 0.35

10400

地覆
表面含浸工
断面修復工

Technical drawing of the Shiraishi River Bridge (Shiraishi River Bridge) showing the plan view and side elevation view.

Plan View (Top):

- Overall width: 10,400mm
- Bridge deck segments: 5x2000=10000mm
- Materials and construction methods:
 - コンクリート舗装 (Concrete Pavement)
 - 橋面防水 (Bridge Deck Waterproofing)
 - 土砂撤去 (Soil and Sand Removal)
 - 橋面排水材 L=10.38m 導水テープ t=3, b=30 (Bridge Deck Drainage Material L=10.38m, Water Guide Tape t=3, b=30)
 - 地覆 (Ground Cover)
 - 表面含浸工 (Surface Seepage Work)
 - 伸縮部 伸縮装置設置工 (Expansion Joint Expansion Device Installation Work)
 - アスファルト舗装 舗装撤去工 (A=12.0m²) 舗装すり付け工 (平均t=6cm) (Asphalt Pavement Pavement Removal Work (A=12.0m²) Pavement Sealing Work (Average t=6cm))
 - 橋面排水材 L=6.07m 導水テープ t=3, b=30 (Bridge Deck Drainage Material L=6.07m, Water Guide Tape t=3, b=30)
 - 土砂だまり 6.00×0.50×0.05 (Soil and Sand Pond 6.00×0.50×0.05)
 - 土砂だまり 4.00×0.50×0.05 (Soil and Sand Pond 4.00×0.50×0.05)
 - 橋面排水材 L=10.38m 導水テープ t=3, b=30 (Bridge Deck Drainage Material L=10.38m, Water Guide Tape t=3, b=30)
 - 地覆 (ひびわれ) 断面修復工 (0.20×0.10×0.09) (Ground Cover (Cracks) Section Repair Work (0.20×0.10×0.09))
 - 地覆 表面含浸工 断面修復工 (Ground Cover Surface Seepage Work Section Repair Work)
 - 伸縮部 伸縮装置設置工 (Expansion Joint Expansion Device Installation Work)
 - 橋面排水材 L=6.07m 導水テープ t=3, b=30 (Bridge Deck Drainage Material L=6.07m, Water Guide Tape t=3, b=30)
 - アスファルト舗装 舗装撤去工 (A=12.0m²) 舗装すり付け工 (平均t=6cm) (Asphalt Pavement Pavement Removal Work (A=12.0m²) Pavement Sealing Work (Average t=6cm))

Side Elevation View (Bottom):

- Overall width: 10,400mm
- Bridge structure: 5x2000=10000mm
- Materials and construction methods:
 - ガードレール (支柱) 塗替塗装工 (Ro-量) (Guardrail (Support) Repainting Work (Ro-amount))
 - ガードレール (ビーム) ビーム取替工 (Guardrail (Beam) Beam Replacement Work)
 - 地覆 表面含浸工 断面修復工 (Ground Cover Surface Seepage Work Section Repair Work)
 - 地覆 表面含浸工 断面修復工 (Ground Cover Surface Seepage Work Section Repair Work)

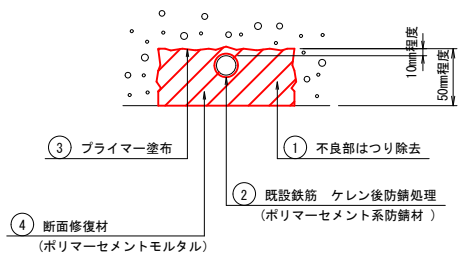
工事名	市道津々羅・佛原線（勢伊後橋）補修工事		
図面名	勢伊後橋 補修図（その2）上部工（橋面）		
作成年月日	令和 5 年 1 月		
縮尺	1:30	図面番号	3 / 5
事業者名	安芸高田市 建設部 建設課		

勢伊後橋 補修詳細図

断面修復工(左官工法)

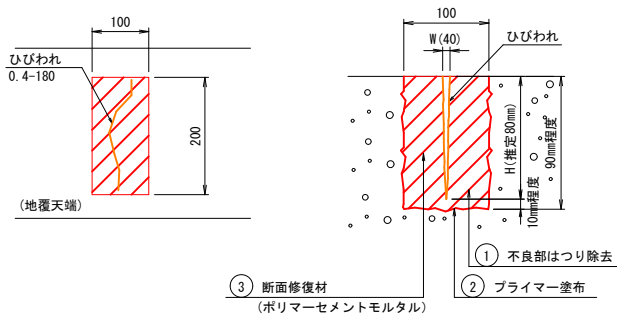
＜床版、地覆＞

(鉄筋箇所)



- ※ 1. 断面修復深さは、上部工は平均5cmと推定し数量算出を行っている。
※ 2. はつり深さは、鉄筋裏の深さまではつり除去を行うこと。

(ひびわれ箇所)

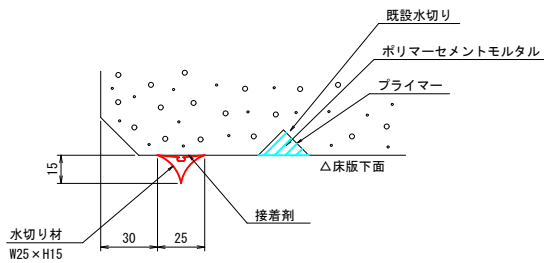


- ※ ひびわれ深さHは、ひびわれ幅W×200倍で推定したものである。

水切り設置工

＜張出床版＞

(参考：ウォーターカッター同等品)



- ※1. 下地面を清掃し、ホコリや油分を取り除き、不陸調整を行う。
※2. 水切り材の接着面に接着剤を塗布する。
※3. 水切り材を接着面に押し当てて接着する。

塗替塗装工

＜主桁・端横桁・横桁、支承＞

塗替塗装仕様 (Rc-Ⅱ 塗装系)

塗装工程	塗 料 名	使用量 (g/m2)	塗装間隔
素地調整	2 種 ケ レ ン		4時間以内
防食下地	有機ジンクリッチペイント	600	1日～10日
下塗	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗	240	1日～10日
下塗	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗	240	1日～10日
中塗	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料用中塗	170	1日～10日
上塗	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料上塗	140	1日～10日

「鋼道路橋防食便覧(平成26年3月)」より

- ※ 1. 現況塗膜には、有害物質である「鉛、総クロム」が含まれている。
※ 2. 施工時には、有害塗膜に対する粉塵対策(安全な塗膜除去)や適性な処理が必要である。
※ 3. 素地調整は、塗膜剥離剤にて旧塗膜を除去した後、動力工具などにより素地調整2種相当を確保する計画としている。
※ 4. 塗膜剥離剤は、人体に優しく安全に塗膜除去作業が出来るアルコール系等を用いること。
(塩化メチレン系は使用しない)
※ 5. 塗膜剥離剤塗布・塗膜除去回数は、1回分の数量を見込んでいる。
※ 6. 有害物質の処理は、特別管理産業廃棄物に該当するため、適切な処分や運搬を行うこと。

塗替塗装工

＜防護柵（支柱）＞

塗替塗装仕様 (Rc-Ⅲ 塗装系)

塗装工程	塗 料 名	使用量 (g/m2)
素地調整	3 種 ケ レ ン A	
上塗	長油性フタル酸樹脂塗料上塗	110

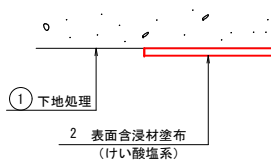
表面保護工

(表面含浸工法)

＜床版、地覆＞

(中性化対応)

(参考：スーパーシールド同等品)

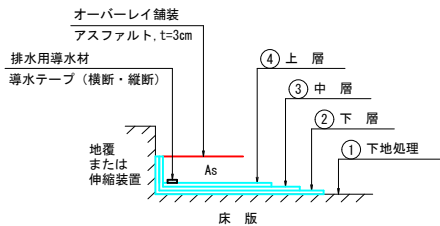


工 程	標準塗布量 (mL/m2)
下地処理（高圧洗浄）	—
表面含浸材塗布（1回目）	150
表面含浸材塗布（2回目）	100

- ※ 下地処理は、サンダーケレン他で行ってもよい。

橋面防水工

(塗膜系防水層)



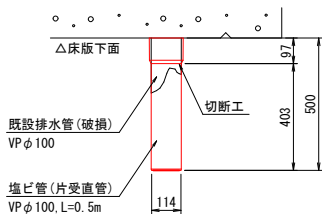
防水仕様(参考)

	材 料	使 用 量
上層	珪砂	0.7 kg/m ²
中層	アスファルト系加熱型塗膜防水材	1.5 kg/m ²
下層	プライマー	0.4 l/m ²

- ※ 排水用導水材は、既設排水樹へ接続すること。

排水管部分取替工

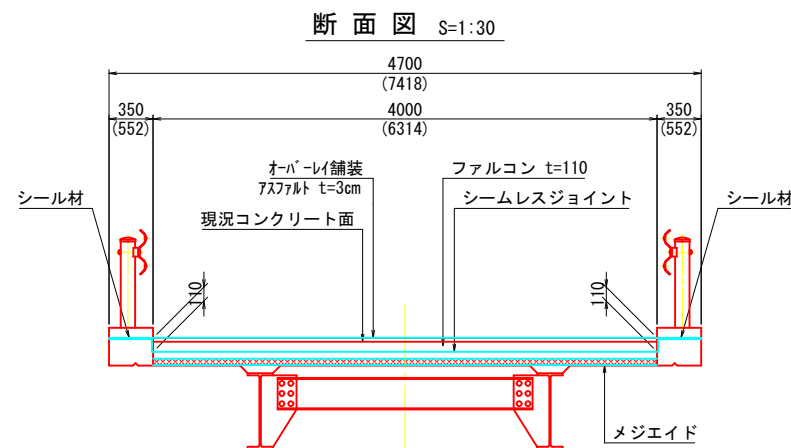
＜張出床版：上流終点側＞



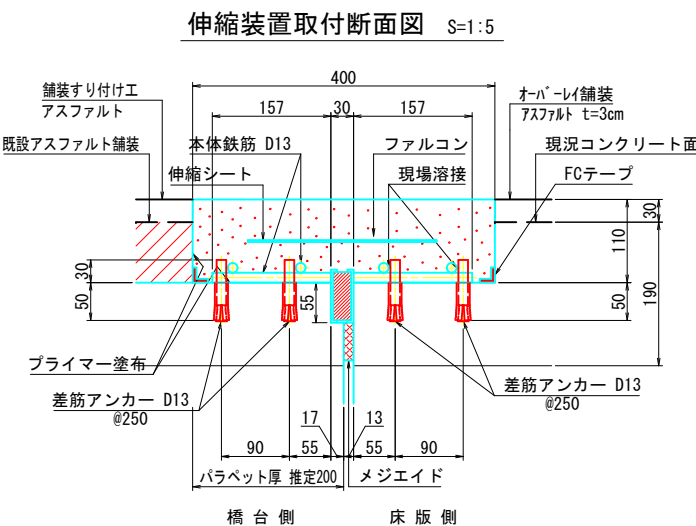
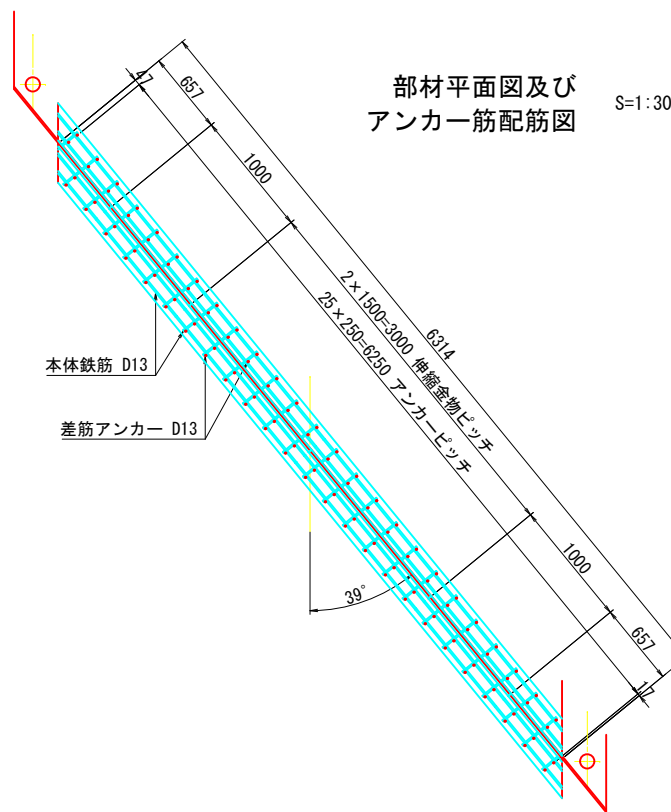
- 注) 1. 実施施工においては、再調査の上、図面整合等確認ののち材料制作・施工を行うこと。

工事名	市道津々羅・佛原線(勢伊後橋)補修工事		
図面名	勢伊後橋 補修詳細図		
作成年月日	令和 5 年 1 月		
縮尺	図 示	図面番号	4 / 5
事業者名	安芸高田市 建設部 建設課		

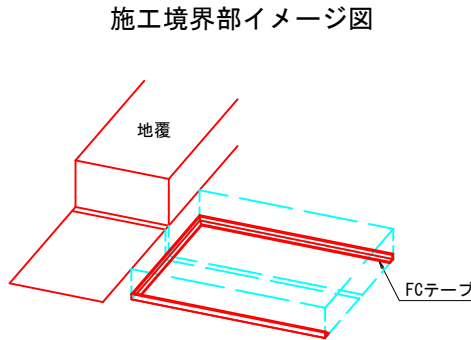
勢伊後橋 伸縮装置補修図



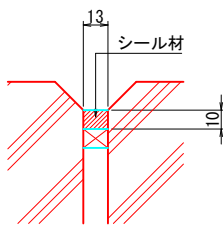
※1 ()内数値は、斜長である。



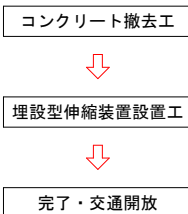
- ※1 仕様・諸寸法・適応の可否は、現地再調査及び照査の上、決定のこと。
※2 伸縮装置箱抜部については、必要に応じて超速硬無収縮モルタル等にて補修及び不陸調整を行うこと。
※3 ファルコンを舗設する際には、FCテープを使用すること。
※4 FCテープは施工箇所を囲むようにファルコン舗設幅分も設置すること。
※5 既設伸縮装置は、ノージョイントを想定。
※6 施工面は、橋面防水工によるオーバーレイ舗装 (アスファルト厚3cm) 布設後の高さである。



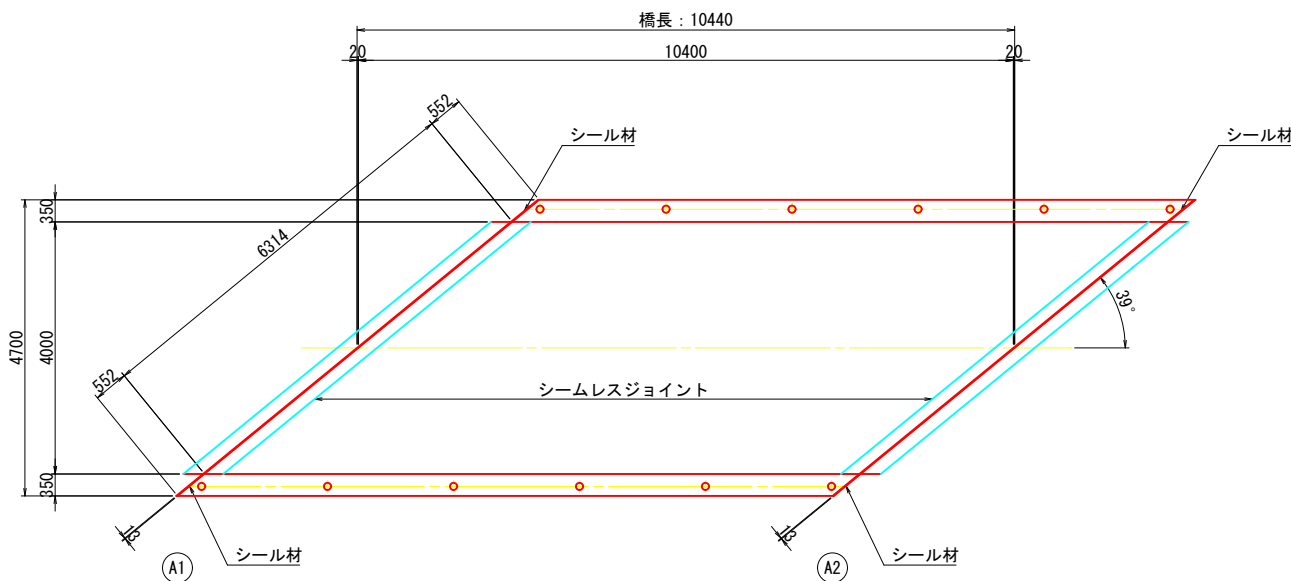
地覆部断面図 S=1:2



施工フロー



配置図 S=1:60



数量表 (設置)

名 称	品名又は仕様	単位	数 量	備 考
伸 縮 金 物	シームレスジョイント SJ-M型	m	12.628	本体鉄筋・伸縮シート装備
プライマー	FCコート	L	4.0	
弾 性 合 材	ファルコン	m ²	0.556	
止 水 材	メジエイド	m	12.628	
特殊瀝青テープ	FCテープ	m	28.076	
差筋アンカー	D13	本	200	

数量表 (他材料)

名 称	品名又は仕様	単位	数 量	備 考
シール材	シリコン系	L	0.4	

工事名	市道津々羅・佛原線 (勢伊後橋) 補修工事		
図面名	勢伊後橋 伸縮装置補修図		
作成年月日	令和5年1月		
縮尺	図 示	図面番号	5 / 5
事業者名	安芸高田市 建設部 建設課		